

研究評価委員会におけるコメント

第 24 回研究評価委員会（平成 22 年 2 月 5 日開催）に諮り、了承された。
研究評価委員会から以下のコメントが出された。

固体高分子形燃料電池実用化戦略的技術開発／劣化機構解析とナノテクノロジーを融合した高性能セルのための基礎的材料研究(中間評価)

- 材料コストが最終的なトータルコスト目標の下へいかないと、実用化に至らない。プロジェクトとして、そこを押さえるようにしていただきたい。

有害化学物質リスク削減基盤技術研究開発(事後評価)

- 有害物質という言葉だけがひとり歩きすると、大きな悪影響の及ぶ産業もあるので、分科会の提言にも書いてあるように、より広く市民に対してのサイエンスコミュニティを考え、成果をできるだけ一般に普及していくように努力して欲しい。
- 揮発性有機化合物（VOC）については今後、関連プロジェクトの立案を検討することが望まれる。
関連プロジェクトをやる、やめるというのは難しい判断であろうが、少なくとも、その判断基準をきちっと検討すべきである。